

原料費調整制度に基づく2026年2月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1㎡あたりの単価)で毎月調整します。なお、ガス料金負担軽減支援期間のため、政府の支援による18.0円/㎡(税込)の値引きが適用されています。

今回の調整は、2025年9月から2025年11月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
3ヵ月の平均原料価格			→		反映		
				→	反映		
					→	反映	
						→	反映

○2026年2月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	調整単位料金(1㎡あたり)	
			2026年1月検針分	2026年2月検針分
料金表 A	0㎡から11㎡まで	786.50 円	221.10 円	202.85 円
料金表 B	11㎡超～115㎡まで	891.00 円	211.63 円	193.38 円
料金表 C	115㎡超～	1,961.30 円	202.31 円	184.06 円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 54,690円/トン**

2025年9月から2025年11月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	82,650 円/トン(10 円未満四捨五入)
2025年9月から2025年11月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	76,410 円/トン(10 円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 $82,650 \text{ 円/トン} \times 0.9748$ $+ 76,410 \text{ 円/トン} \times 0.0404$	83,650 円/トン (10 円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格－基準平均原料価格)	$83,650 \text{ 円} - 54,690 \text{ 円} = 28,900 \text{ 円/トン}$ (100 円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1㎡あたりの価格変動額	0.075 円
ガス料金負担軽減支援による値引き単価(1㎡あたり)*	-18.0 円(税込)
2026年2月分検針の調整額(1㎡あたり)	$28,900 \text{ 円} \times 0.075 \text{ 円} \div 100 \times 1.10 = 23.84 \text{ 円}$ (小数点第3位切り捨て) $23.84 \text{ 円} - 18.0 \text{ 円} = \underline{5.84 \text{ 円(税込)}}$
2026年1月分検針の調整額(1㎡あたり)	24.09 円(税込)
(2月分)対(1月分)増減(1㎡あたり)	-18.25 円(税込)

2026年2月分の単位料金を1㎡あたり 5.84 円(税込) 調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1か月のご使用量	2026年1月分料金	2026年2月分料金	影響額
20㎡	5,123円	4,758円	-365円

※詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金支援サイト」をご覧ください。<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp>